



平成 19 年 11 月 30 日

各 位

上場会社名 日 特 建 設 株 式 会 社  
代 表 者 名 代表取締役社長 中 森 保  
コード番号 1 9 2 9 ( 東証第 1 部 )  
問 合 せ 先 執行役員 経営企画室長  
和田 康 夫  
(電話番号) 0 3 - 3 5 4 2 - 9 1 6 4

### (訂正)「継続企業の前提に関する注記」の訂正に関するお知らせ

当社は、平成 19 年 11 月 16 日に公表した当社プレス「継続企業の前提に関する注記」において、フェニックス・キャピタル・パートナーズ・シックス投資事業組合を割当先とする「第三者割当による新株式（普通株式、乙種優先株式）の発行」を同日の当社取締役会で決議し、同決議の内容により継続企業の前提に係る重要な疑義は解消し、中間連結財務諸表及び中間財務諸表等は継続企業を前提に作成している旨記載致しました。

平成 19 年 11 月 30 日の当社取締役会において上記実施を一旦撤回するとともに、あらためてフェニックス・キャピタル・パートナーズ・シックス投資事業組合及び株式会社不動産テトラを割当先とする「第三者割当による新株式（普通株式、乙種優先株式）の発行」を決議いたしましたので、同日決議した内容に合わせて記載内容を下記のとおり訂正いたしましたので、お知らせいたします。

なお、訂正箇所につきましては、訂正前と訂正後をそれぞれ記載し、訂正箇所には\_\_を付して表示しております。

### 記

#### (訂正前)

さらに、平成 19 年 11 月 16 日開催の当社取締役会決議に基づき、同日付でフェニックス・キャピタル・パートナーズ・シックス投資事業組合を割当先として、業務執行組合員であるフェニックス・キャピタル株式会社との間で、6,000 百万円（差引手取概要額 5,710 百万円）の新株引受契約を締結し、平成 20 年 1 月 18 日を払込期日とする第三者割当増資を計画しております。これにより債務超過は解消できる見込みであります。

また、上記第三者割当増資の予定に並行して、金融機関からの借入金については、リファイナンスに向けた協議を行っております。

この結果、継続企業の前提に関する重要な疑義を解消できるものと判断しております。

中間連結財務諸表及び、中間財務諸表は、継続企業を前提に作成されており、上記のような重要な疑義の影響を中間財務諸表に反映しておりません。

#### (訂正後)

さらに、平成 19 年 11 月 30 日開催の当社取締役会決議に基づき、同日付でフェニックス・キャピタル・パートナーズ・シックス投資事業組合及び株式会社不動産テトラを割当先として、業務執行組合員であるフェニックス・キャピタル株式会社及び株式会社不動産テトラとの間で、6,000 百万円（差引手取概要額 5,710 百万円）の新株引受契約を締結し、平成 20 年 1 月 18 日を払込期日とする第三者割当増資

を計画しております。これにより債務超過は解消できる見込みであります。

また、上記第三者割当増資の予定に並行して、金融機関からの借入金については、リファイナンスに向けた協議を行っております。

この結果、継続企業の前提に関する重要な疑義を解消できるものと判断しております。

中間連結財務諸表及び、中間財務諸表は、継続企業を前提に作成されており、上記のような重要な疑義の影響を中間財務諸表に反映しておりません。

以 上